

世田谷文学館 〈どこでも文学館〉 新作パネル特別展示

写真展 〈写真家・大竹英洋「ノースウッズを旅する」〉

2020年6月2日(火)～9月22日(祝・火)

世田谷文学館では6月2日(火)から9月22日(祝・火)まで、写真展〈写真家・大竹英洋「ノースウッズを旅する」〉を開催いたします。

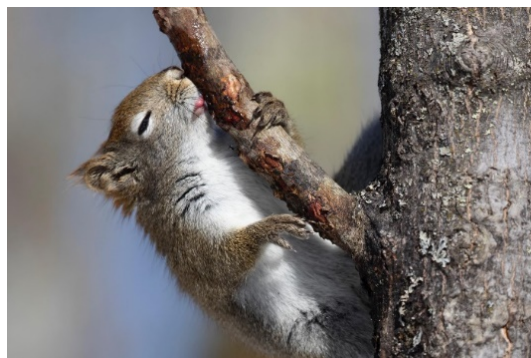
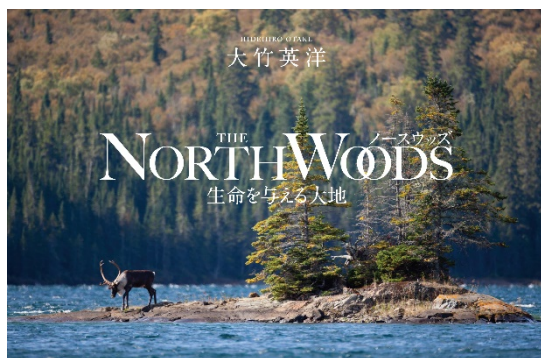
大竹英洋(おおたけ・ひでひろ)さんは1975年京都府舞鶴市に生まれ、世田谷区で育ちました。1999年から20年にわたって北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに野生動物や人びとの暮らしを撮影し、人間と自然とのつながりを問い続けています。

当館では、2011年から写真パネル「大竹英洋 北の森 ノースウッズの世界」を世田谷区内外の学校や図書館、区民センターに出張展示し、多くの皆さまからご好評をいただけてきました。今回展示するのは大竹さんの初の写真集『ノースウッズー生命を与える大地』(クレヴィス 2020年)から作品の一部をセレクトして制作した新作パネルです。

焼野から芽を出すジャックパイン、厳しい自然に適応しながら生きるカリブー、ムース、ビーバー、ホッキョクグマ、アビなど野生動物たちの一瞬の表情や先住民が残した謎の壁画……。

「動物も、草木も、人間も、さらには岩や水、火や風や雪といったあらゆる存在が、この地球から命を与えられ、生かされている」という大竹さんの思いをきくと実感していただけることでしょう。

皆さまのご来場をお待ちしております。



- 協力：クレヴィス
- 会期：2020年6月2日(火)～9月22日(祝・火)
- 会場：世田谷文学館 1F 文学サロン
- 開館時間：10:00～18:00
- 入場無料
- 休館日：毎週月曜日(ただし8月10日、9月21日は開館し、8月11日は休館)

【お問い合わせ】世田谷文学館学芸部

〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10(京王線「芦花公園」駅から徒歩5分)

TEL 03(5374)9111 FAX 03(5374)9120

<https://www.setabun.or.jp>

e-mail: webmaster@setabun.net